

# ポルトガル月報

2024年2月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

### 【内政】★アソーレス自治州議会議員選挙の実施

★共和国議会選挙に向けたTV討論の開催

### 【外交】★共和国大統領、ロシアによるウクライナ侵攻2周年に関するメッセージの発信

★ゴメス・クラヴィーニョ外務大臣のG20外務大臣会合参加

### 【経済】★2023年の公的債務の発表

(上記主要ニュースには以下本文にて★が付されている)

## 内政

### ★アソーレス自治州議会議員選挙の実施

2月4日、アソーレス自治州にて州議会議員選挙が行われた。本選挙では、同地で現在政権を有する社会民主党(PSD)、民衆党(CDS)、人民君主党・民衆党連合(PP-PPM)の連立による右派政権が57議席中26議席を獲得したものの、過半数獲得には3議席届かなかった。社会党(PS)は23議席に留まり、左翼連合(BE)、リベラル主導党(IL)、人と自然と動物の党(PAN)はそれぞれ1議席獲得した。シェーガ党(CH)は5議席獲得した。

### ★共和国議会選挙に向けたTV討論の開催

2月12日から23日にかけて、3月10日に行われる共和国議会選挙へ向けた各政党同士のTV討論が行われた。2月19日夜に行われたペドロ・ヌーノ・サントス社会党(PS)書記長とルイス・モンテネグロ社会民主党(PSD)党首の討論会は80分に及び多岐にわたる議題について意見交換がなされ、280万人以上の国民が同討論会を視聴したとされている。2月25日からは選挙活動が開始され、投票日2日前の3月8日まで行われる。

### ●インテルカンパス社の世論調査結果

2月14日、インテルカンパス社は政党支持に対する世論調査の結果を発表した。与党・社会党(PS)の支持率は22.4%(前月比4.0ポイント減)となった。最大野党・社会民主党(PSD)と民衆党(CDS-PP)の連合である民主主義同盟(AD)の支持率は24.3と増加し、PSの数値を上回った。野党第二党のシェーガ党の支持率は16.5%となり、前月から大きな変化は見られないものの、政党支持率第3位を守った。その他の政党では、リベラル主導党(IL)の支持率は6.6%、左翼連合(BE)は5.4%、自由党(Livre)は2.7%となり、人と自然と動物の党(PAN)の支持率は3.2%となった。

同社による最新の政党別支持率は以下のとおり。

政党	10月	11月	12月	1月	2月
PS	25.2	17.9	25.4	26.4	22.4
AD*	N/A	N/A	N/A	20.8	24.3
CH	11.7	13.0	11.6	16.6	16.5
IL	8.3	7.0	6.6	5.4	6.6
BE	6.7	7.9	8.8	7.4	5.4
CDU**	4.1	3.2	2.4	3.9	2.7

PAN	3.2	2.3	3.0	2.2	3.2
CDS***	1.6	2.0	1.6	N/A	N/A
Livre	1.4	2.7	2.9	1.3	2.7

\*社会民主党（PSD）と民衆党（CDS-PP）の連合

\*\*ポルトガル共産党（PCP）・緑の党（PEV）の連合

\*\*\*現在無議席

## 外交

### ●共和国大統領によるチリでの森林火災に対するメッセージ発出

2月4日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、チリで起こった森林火災の犠牲者に対し追悼のメッセージを発出した。また、同大統領は、ポルトガル及びポルトガル国民を代表し、チリ国民、犠牲者の家族、被害の大きかった地域から避難を余儀なくされている国民への連帯を表明した。

### ●クラヴィーニョ外相のウクライナ訪問

2月5日、6日の2日間、ゴメス・クラヴィーニョ外務大臣及びジョアン・コスタ教育大臣は、ウクライナを訪問した。訪問1日目は、ロシアによる侵攻で破壊されたジトミール地方の学校の瓦礫を視察した。また、ポルトガルとウクライナとの間で、学校施設・設備の再建に関する協力覚書に署名した。訪問2日目は、クラヴィーニョ外相とドミトロ・クレバ/ウクライナ外相の会談が行われた。同日にクラヴィーニョ外相及びコスタ教育相は、ゼレンスキー/ウクライナ大統領と会談した。会談後の記者会見にて、クラヴィーニョ外相はポルトガルが新たなウクライナ支援パッケージを準備している旨述べたが、詳細については明らかにしなかった。同ウクライナ訪問にはフィリップ・コスタ/ポルトガル投資貿易促進庁（AICEP）会長兼CEOも同行し、商工会議所にてポルトガルの建設事業について説明を行った。

### ●クラヴィーニョ外務大臣のポーランド訪問

2月7日、ゴメス・クラヴィーニョ外相は、ポーラン

ドを訪問し、ラドスワフ・シコルスキ/ポーランド共和国外務大臣と会談した。両者は主にロシアによるウクライナ侵攻及び両国が提供してきたウクライナ支援について意見交換した後、両国の港の連携強化の可能性について意見交換がなされた。

### ●ゴメス・クラヴィーニョ外相のアフリカ訪問

2月12日から15日にかけて、ゴメス・クラヴィーニョ外務大臣はナイジェリア、ルワンダ、エチオピアの3か国を訪問した。12日にはヴィンセント・ビルタ/ルワンダ外務大臣と会談し、貿易、高等教育、エネルギー、インフラなど様々な分野で意見交換をした。その後、キガリ虐殺記念館を訪問した。エチオピアでは、アデオエ/アフリカ連合政治・平和安全保障委員会委員長と会談し、ポルトガルとアフリカ連合の更なる協力強化について意見交換した。

### ●クラヴィーニョ外相のミュンヘン安全保障会議参加

2月16日、ゴメス・クラヴィーニョ外相はミュンヘン安全保障会議に参加するため、ドイツを訪問した。同会議開催期間中、クラヴィーニョ外相はジャイシャンカル/インド外務大臣、アーマン・サファディ/ヨルダン外務大臣及びアララト・ミルゾヤン/アルメニア外務大臣と安全保障分野についてそれぞれ会談を行った。

### ★ゴメス・クラヴィーニョ外務大臣のG20外務大臣会合参加

2月21日及び22日、ゴメス・クラヴィーニョ外務大臣は議長国であるブラジルからの招待を受け、G20外相会合（於：リオ・デ・ジャネイロ）に参加した。クラヴィーニョ外相は、安保理を含む国連全般について、「我々は組織の墮落を目の当たりにしている。警告を発し、機能していないものを改善するメカニズムが必要である。」と述べた。ブラジルが掲げる、貧困・飢餓対策、持続可能性、国連安保理改革を含むグローバルガバナンス改革といった最優先課題については「非常に的確な議題である」と評価した。

## ★共和国大統領、ロシアによるウクライナ侵攻2周年に関するメッセージの発信

2月24日、ロシアによるウクライナ侵攻開始から2年が経過した日、レベロ・デ・ソウザ大統領は大統領府HPにてメッセージを発信した。同大統領は、「ロシアによる違法かつ不当なウクライナ侵攻が始まってから2年、私はポルトガル人を代表し、ウクライナの人々が示した勇気、決意、回復力に対する深い賞賛を表したい。」と述べた。ウクライナ支援に関しては、「欧州およびNATOのパートナーとともに、必要な限り、政治的、軍事的、財政的、人道的支援を維持する」と支援継続を約束した。最後に、ウクライナのEU加盟交渉開始決定を歓迎し「この戦争におけるウクライナの勝利は、欧州の勝利でもある。ウクライナの主権が完全に回復し、国際秩序が回復されるまで、ポルトガルは支援を継続する。」と締めくくった。

## ●アントニオ・コスタ首相のフランス訪問

2月26日、アントニオ・コスタ首相はエマニュエル・マクロン仏大統領の招待でパリを訪れ、ウクライナ支援のためのハイレベル会合に参加した。コスタ首相は会議参加後、「ウクライナの領土、主権及び自由に対する権利を保証し、公正で永続的な平和達成のために引き続き取り組んでいく。国際法の優位性を守ることは、私たち自身の将来の安全を確保することでもある」と述べた。

## ●クラヴィーニョ外務大臣、スウェーデンのNATO加盟申請プロセスについて発言。

2月26日、クラヴィーニョ外務大臣は、ハンガリー議会がスウェーデンのNATO加盟を承認した事を受け、自身のXアカウント上でメッセージを発信した。クラヴィーニョ外相は、「スウェーデンのNATO加盟がハンガリー議会で批准されたことは、遅延もあったが、素晴らしいニュースである。共に強くなる。」と述べた。スウェーデンは2022年にNATO加盟申請を開始し、ハンガリー以外のNATO加盟国31か国は既に加盟について承認していたものの、ハンガリーのみが非

承認の状態であった。

## 経済

### ★2023年の公的債務の発表

2月1日、ポルトガル中央銀行は2023年の公的債務の数値を発表した。2023年の数値はGDP比の98.7%となり、2009年以降同数値が100%を下回ったのは初めてである。同統計によると、公的債務残高は2022年比で94億ユーロ減少し、2,360億ユーロとなった。

### ●2023年の平均給与の発表

2月15日、ポルトガル国立統計院は2023年の平均給与を発表した。2023年の従業員一人あたりの平均給与は1,505ユーロであり前年と比較し6.6%の増加となった。また、2015年の数値と比較すると27.7%の増加となる。また、民間部門に限って言えば、同数値は1,396ユーロとなり、前年比で7.2%の増加となった。これら数値は、2022年に締結された「所得・賃金・競争力向上のための中期協定」で定められた5.1%の賃上げ基準を上回った。

### ●2023年の年間電源構成における再生可能エネルギーの割合発表

2月12日、ポルトガル再生可能エネルギー機関(APREN)は国内の再生可能エネルギーに関するデータを発表した。ポルトガルの2024年1月の電源構成における再生可能エネルギーの割合は80.4%となった。種別では、風力が24.6%、水力が46.6%、太陽光が4.0%、バイオマスが5.4%となった。尚、ポルトガルの2023年の電源構成における再生可能エネルギーの割合は70.7%であり、欧州4位。ポルトガルの電源構成における各月の再生可能エネルギー割合は以下のとおり。

	9月	10月	11月	12月	1月
再エネ割合	55.9%	73.7%	83.4%	81.3%	80.4%

5%の増加となり、失業率は6.5%となった。

(了)

### ●2023年12月の貿易取引数値の発表

2月9日、国立統計院（INE）は2023年12月の貿易取引量の変化に関する数値を発表した。12月の貿易取引量は前年同月と比較し、輸出が0.3%増、輸入が5.9%減となった。また、2023年第4四半期の貿易取引は、前年同時期と比較して輸入が0.8%、輸出が4.4%減少した。

### ●2024年1月の年間消費者物価指数の発表

2月12日、国立統計院は2024年1月の消費者物価指数（CPI）を発表した。同月の消費者物価指数は2.3%となり、前月から0.9%増加した。この数値は、欧州連合統計局によって発表されたユーロ圏の同時期の数値（2.8%）を下回る。ポルトガル及びユーロ圏の過去の消費者物価指数は以下のとおり。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
ポルトガル	3.7%	3.6%	2.1%	1.5%	1.4%	2.3%
ユーロ圏	5.3%	4.3%	2.9%	2.4%	2.5%	2.8%

### ●新たなグリーン水素製造工場の設置発表

2月15日、当国電力会社大手のEDP社は、リスボン北東のアレンケル市でのグリーン水素生産工場設置に15.5億ユーロの投資を決定した。同工場で生産さえるグリーン水素の95%は天然ガス（都市ガス）配管にグリーン水素ガスを注入する予定。残りの5%は大型車・重機用の水素ステーションへの供給に利用される予定。

### ●2024年1月の失業者数の発表

2月20日、ポルトガル職業安定所（IEFP）は、2024年1月の失業者数を発表した。1月の失業者数は33万5,000人となり、前月比で5.